

令和 8 年度第 3 回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和 8 年 6 月 10 日 13 時 00 分～13 時 50 分

2 場所

本部棟 3 階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学マネジメントセンター長、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、高嶋学生支援本部長、猪股企画・広報本部長、高橋高等教育推進センター長、工藤看護学部長、佐藤社会福祉学部長、橋本ソフトウェア情報学部長、Tee 総合政策学部長、長坂盛岡短期大学部長、川崎生活科学科長、田中宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）、中里委員（学外委員：岩手大学人文社会学部教授）

[オブザーバー]

武蔵事務局次長兼総務室長、中川教育支援室長、柴田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、千葉企画・広報室長、尾形宮古事務局長

[事務局]

高橋副参事兼総務財務課長、高橋人事給与課長、森主幹、伊藤主幹、田沼主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議 5 月 13 日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

（1）令和 7 年度の業務実績の評価について

亀田大学評価委員長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）学長候補者の推薦対応について

人事案件のため、全ての審議、協議、報告事項が終了した後に、学長及び事務局の関係者以外の者が退席した上で審議が行われた。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

（1）R8 全学 FDSD プログラム第 1 回高等教育セミナー実施要項について

高橋教学マネジメントセンター長から、資料に基づき説明があり、今年度 4 月の教学 I R センターから教学マネジメントセンターへの組織再編に伴い、教学マ

ネジメントの手法も変わってくる場合があることから、全学的に共有してほしい旨の補足説明があった。また、FDSD への確実な参加をお願いしたい旨の補足説明があった。

(2) 国際交流協定等の失効について（インドマダナパレ工科大学）

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 令和 8 年度公開講座の開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があり、滝沢会場と宮古会場に会場しづらい県民に配慮し、昨年度と同様に県北と県南で 1 ヶ所ずつ、無料で講座を開催する予定である旨の補足説明があった。また、すべての講座終了後、YouTube で公開予定である旨の補足説明があった。

鈴木学長から、地域貢献という意味で非常に重要な役割であることから、先生方の積極的な参加をお願いしたい旨の発言があった。

(4) 令和 8 年度 研究・地域連携本部研究成果発表会の開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があり、プログラムは検討中だが、昨年度と同様に、多くの先生に出ていただき、かつ議論する時間を取りたいことから、ポスターセッションをメインに開催する予定である旨の補足説明があった。

(5) 文部科学省「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業への応募について

亀田副学長（企画広報・研究地連担当）から、資料に基づき説明があり、岩手大学から事業への参画依頼があり、学内で検討した結果、参画することとした旨の補足説明があった。鈴木学長から、本事業は中教審答申の「アクセスの確保」に基づく事業で、採択件数が全国で 10 件と非常に厳しい条件であるが、検討の上、応募した旨の補足説明があった。

(6) 令和 8 年度専門分野別外部評価の実施について

猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和 7 年度 F D ・ S D の実績について

(2) 令和 8 年度キャンパス・アテンダントの決定について

(3) 令和 8 年度ライブラリー・アテンダントの決定について

(4) 令和 8 年度前期「English Time」の開催について

(5) 令和 8 年度前期「Data Commons（データ・コモンズ）」の開設について

(6) 令和 8 年度七夕祭開催について

(7) 北いわて地域活性化推進研究の採択課題の決定について

(8) 令和 8 年度 Ruby プログラミング教室の開催について

(9) 令和 8 年度岩手県立大学リスクリング講座の開催について

(10) 令和 8 年度データサイエンス・リカレント講座 AI 研修・EBPM カンファレンスの開催について

(11) 令和 7 年度研究倫理審査委員会の審査結果及び令和 8 年度の審査スケジュール

(予定)について

(12) 第4回イノベ cafe の開催について

(6)について

高嶋学生支援本部長から、6月26日金曜日に、学生会の企画による七夕祭が開催されることから、足を運んでほしい旨の補足説明があった。

その他

○ 「ゲートウェイカレッジ」について

委員から、他大学では「ゲートウェイカレッジ」という仕組みがあり、いわゆる「教えない教育」で、小中高においても自らが問いを発見して調べ、教員はその手助けをするという探求学習が行われているが、それを大学でも取り組むようなものである。現在の受験制度は、「教わってきたこと」がベースになっているので、どのようなギャップが生じるか興味がある。これは文部科学省の意向に沿って実施している取組なので、今後、さらに他の大学にも波及するのではないかと思う旨の発言があった。

○ 学生歌について

委員から、「岩手県立大学の学生」としてのアイデンティティの確立にもつながることから、資料報告にあった七夕祭でも、学生歌を披露してはどうかとの発言があった。

○ 公開講座及びキャンパス・アテンダントについて

委員から、公開講座が地域密着で取り組まれている点が良く、また、キャンパス・アテンダントの活動は、他大学の参考にもなる旨の発言があり、キャンパス・アテンダントは、学生が、大学見学にきた高校生の対応をするのか質問があった。これに対し、委員から、他の活動もあるが、それがメインの活動である旨の説明があった。

委員から、他大学では、オープンキャンパスの日にしか高校生が来学することがない場合もあるが、岩手県立大学では、それ以外の機会でも高校生が見学にすることがあるか質問があった。これに対し、委員から、個人単位で随時受け付けることはないが、学校単位やグループ単位で見学にすることがあり、キャンパス・アテンダントの学生が対応している。教職員よりも学生の方が高校生に近いので、学生ならではの良さがあるようであり、参加する学生もやりがいを感じていると聞いている旨の説明があった。

以上